



# NetApp Workload Factory for Builders ドキュメント Builders workloads

NetApp  
October 06, 2025

# 目次

NetApp Workload Factory for Builders ドキュメント	1
リリースノート	2
NetApp Workload Factory for Builders の新機能	2
2025年10月5日	2
2025年6月16日	2
2025年5月4日	2
2024年12月1日	2
NetApp Workload Factory for Builders の既知の制限事項	2
オペレータの権限が必要です	3
開始する	4
NetApp Workload Factory for Buildersの詳細	4
NetApp Workload Factory for Builders とは何ですか?	4
NetApp Workload Factory for Buildersの機能	4
ビルダーのプロジェクトとワークスペース	4
ワークロードファクトリーの動作モード	5
Workload Factory Codebox による自動化	5
コスト	5
ライセンス	5
地域	5
サポートを受ける	6
ビルダーのクイックスタート	6
ビルダーの要件	7
ビルダーとPerforceの統合	7
ビルダーワークロードの使用	9
ビルダープロジェクトの管理	9
プロジェクトを作成します	9
既存のプロジェクトの表示	10
プロジェクトの編集	10
プロジェクトのワークスペースを表示する	10
プロジェクトの削除	11
NetApp Workload Factory for Builders プロジェクトのバージョンを管理する	11
プロジェクトのスナップショットの作成	11
プロジェクトのクローンを作成する	11
ビルダーワークスペースの作成	12
CodeboxでBuildersタスクを自動化	13
知識とサポート	14
NetApp Workload Factory for Builders のサポートに登録する	14
サポート登録の概要	14
NetAppサポートのアカウントに登録する	14

ビルダーに関するヘルプ .....	16
FSx for ONTAPのサポートを利用する .....	16
セルフサポートオプションを使用します .....	16
ネットアップサポートと一緒にケースを作成します .....	17
サポートケースの管理（プレビュー） .....	19
NetApp Workload Factory for Builders に関する法的通知 .....	22
著作権 .....	22
商標 .....	22
特許 .....	22
プライバシーポリシー .....	22
オープンソース .....	22

# NetApp Workload Factory for Builders ドキュメント

# リリースノート

## NetApp Workload Factory for Builders の新機能

Workload Factory の Builders 機能の新機能について説明します。

**2025年10月5日**

BlueXP workload factoryがNetAppワークロードファクトリーに

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。その結果、BlueXP workload factoryの名前がNetAppワークロード ファクトリーに変更されました。

**2025年6月16日**

クローンサポート

BlueXP Workload Factory for Builders でプロジェクトを複製できるようになりました。プロジェクトを複製すると、Builders はスナップショットから元のプロジェクトと同じ構成の新しいプロジェクトを作成します。クローン作成は、類似のプロジェクトをすばやく作成したり、テストしたりする場合に役立ちます。ビルダーの指示に従って、新しいプロジェクトのクローンをマウントできます。

["BlueXP Workload Factory for Builders プロジェクトのバージョンを管理する"](#)

**2025年5月4日**

権限に関する用語を更新

Workload Factory のユーザー インターフェイスとドキュメントでは、読み取り権限を示すために「読み取り専用」を使用し、自動化権限を示すために「読み取り/書き込み」を使用するようになりました。

**2024年12月1日**

ビルダーワークロードの初回リリース

BlueXP Workload Factory for Builders はソフトウェア バージョンの使用とアクセスを簡素化し、カスタム ツールやスクリプトの必要性を排除します。これにより、開発プロセスに便利なワークスペースとして Perforce Helix Core と統合されたインスタント クローンとしてソフトウェア バージョンを使用できるようになるため、時間とリソースを節約できます。

初期リリースには、プロジェクトとワークスペースを管理し、Codeboxを使用してアクションを自動化する機能が含まれています。また、BuildersとPerforce Helix Coreを統合することで、プロジェクトごとに異なるバージョンを管理し、すばやく切り替えることができます。

## NetApp Workload Factory for Builders の既知の制限事項

このリリースの製品でサポートされていない、または正しく相互運用できないプラットフォーム

フォーム、デバイス、または機能については、既知の制限事項が記載されています。これらの制限事項をよく確認してください。

オペレータの権限が必要です

NetApp Workload Factory for Builders が正しく機能するには、オペレータ権限が必要です。

# 開始する

## NetApp Workload Factory for Buildersの詳細

NetApp Workload Factory for Builders は、ソフトウェアビルダー向けの迅速なビルド環境作成ツールです。これにより、個人開発環境の迅速なセットアップが可能になり、時間が節約され、開発者のセルフサービスが可能になるとともに、DevOps チームがインフラストラクチャを制御できるようになります。ビルダーを使用すると、ソフトウェア開発者は特殊なデータストレージや開発インフラストラクチャの理解を必要とせず、ワークスペースをすばやく作成できます。

### NetApp Workload Factory for Builders とは何ですか？

NetApp Workload Factory for Builders は、開発者がさまざまなバージョンのソフトウェアを管理および操作する方法を効率化するように設計されています。Builders は Perforce Helix Core とシームレスに統合され、ソフトウェアバージョンの即時クローンを提供し、開発、QA、CI/CD プロセスにすぐに使用できるワークスペースを作成します。

Buildersを使用すると、プロジェクトを簡単に作成し、ソフトウェア環境とその成果物を表すボリュームを割り当てることができます。ソフトウェアを更新すると、ボリュームのスナップショットを作成して、その時点のソフトウェアの状態をキャプチャできます。つまり、バージョン管理システムと再同期することなく、ソフトウェアのどのバージョンにも瞬時にアクセスできるため、貴重な時間とリソースを節約できます。

ONTAPのスナップショット機能とクローン機能を活用することで、Buildersは開発ワークフローを強化し、ソフトウェアの複数バージョンへの迅速なアクセスを可能にし、開発サイクルを短縮し、市場投入までの時間を短縮します。

ワークロードファクトリーの詳細については、["ワークロードファクトリーの概要"](#)。

### NetApp Workload Factory for Buildersの機能

NetApp Workload Factory for Builders は、次の機能を提供します。

- プロジェクトの作成、編集、削除
- 定義済みのソフトウェアバージョンのスナップショットを作成する
- ワークスペースの作成と削除（クローンに基づく）
- アクセスポリシーを作成してプロジェクトへのアクセスを制御する
- 各プロジェクトの容量使用状況を分析する
- プロジェクトごとにクローンのサイズ制限とクローンの保持期間を制御する
- Perforceなどのバージョン管理システムと統合

### ビルダーのプロジェクトとワークスペース

ビルダーを使用する場合は、プロジェクトを作成し、ソフトウェア環境とそのアーティファクトを表すボリュームを割り当てます。ソフトウェアの新しいバージョンを作成するたびに、ボリュームデータを再同期し、プロジェクトSnapshotを作成してボリュームの状態を既知のバージョンとしてマークする必要があります。プ

プロジェクトのソースボリュームにローリング更新が適用され、複数のバージョンをマークするためのSnapshotが複数存在する場合があります。各スナップショットは、開発者、QA、またはビルドプロセスが利用できる専用または共有の編集可能なリポジトリであるインスタントクローンとしてすぐに使用できます。特定のソフトウェアバージョンのコンテキスト内のクローンは、ワークスペースです。

## ワークロードファクトリーの動作モード

3つの異なる動作モード (基本、読み取り専用、読み取り/書き込み) により、Workload Factory の内外での展開に柔軟なオプションが提供されます。Workload Factory の外部で使用するためのコード スニペットを使用して、基本モードでゼロトラストの価値をすぐに得ることができます。読み取り専用モードと読み取り/書き込みモードで増分信頼を使用して増分値を取得します。

詳細はこちら["ワークロードファクトリーの動作モード"](#)。

## Workload Factory Codebox による自動化

Workload Factoryでは、\_Codebox\_を使用した自動化が組み込まれています。Codeboxには、次のような自動化の利点があります。

- コードスニペットの生成：IAC (Infrastructure as Code) スニペットはリソース作成時に生成されるため、既存のオーケストレーションワークフローとシームレスに統合できます。
- **Infrastructure-as-code** のコパイロット: Codebox は、開発者と DevOps が Workload Factory でサポートされているあらゆる操作を実行するためのコードを生成するのに役立つ Infrastructure-as-code (IaC) コパイロットです。
- コードビューアと自動化カタログ: コードボックスは、自動化の迅速な分析のためのコードビューアと、将来の迅速な再利用のための自動化カタログを提供します。

## コスト

Workload Factory の Builders 機能の使用には料金はかかりません。

## ライセンス

Workload Factory の Builders 機能を使用するために、NetAppからの特別なライセンスは必要ありません。

## 地域

ビルダーは、FSx for ONTAPがサポートされるすべての商用地域でサポートされます。 ["サポート対象の Amazon リージョンを表示します。"](#)

次のAWSリージョンはサポートされません。

- 中国
- GovCloud (US) リージョン
- シークレットクラウド
- トップシークレットクラウド

## サポートを受ける

Amazon FSx for NetApp ONTAP は、AWSファーストパーティの解決策です。FSx for ONTAPファイルシステム、インフラ、または本サービスを使用する解決策に関する質問やテクニカルサポートの問題については、AWS管理コンソールのサポートセンターを使用してAWSに対するサポートケースをオープンしてください。「FSx for ONTAP」サービスと該当するカテゴリを選択します。AWS サポートケースの作成に必要な残りの情報を指定します。

Workload FactoryまたはWorkload Factoryアプリケーションとサービスに関する一般的な質問については、以下を参照してください。["Workload Factory のビルダーのヘルプを取得する"](#)。

## ビルダーのクイックスタート

Buildersプロジェクトの作成を開始します。管理者とチームリーダーは、ビルダーを使用して、開発者チームのプロジェクトとワークスペースを管理できます。

1

ワークロードファクトリーにログイン

必要となるのは ["Workload Factoryでアカウントを設定する"](#) 次のいずれかを使用してログインします ["コンソールエクスペリエンス"](#)。

2

AWSのクレデンシャルと権限をアカウントに追加する

AWS アカウントにアクセスするための認証情報を追加せずに、Workload Factory を *Basic* モードで使用できます。読み取り専用 モードまたは読み取り/書き込み モードのいずれかで AWS 認証情報を Workload Factory に追加すると、FSx for ONTAPファイルシステムの作成と管理、および Builders プロジェクトのデプロイと管理に必要な権限が Workload Factory アカウントに付与されます。

["クレデンシャルと権限を追加する方法"](#)です。

3

ビルダーの要件を満たすように環境をセットアップする

NFS共有として設定されたボリュームを少なくとも1つ含むFSx for ONTAPファイルシステムが導入および検出されている必要があります。

["ビルダー要件の詳細"](#)です。

4

他のサービスとの統合

Workload Factory REST APIを使用して、ビルダーをサービスポータルやPerforce Helix Coreなどの他のサービスと統合します。

["ビルダーとPerforceを統合する方法"](#)です。

次のステップ

これにより、コードとアーティファクトの迅速かつ効率的な管理を開発チームに提供できるようになりました ["プロジェクトの作成"](#)。

## ビルダーの要件

NetApp Workload Factory for Builders の使用を開始する前に、Workload Factory と AWS が適切にセットアップされていることを確認してください。これには、AWS ログイン認証情報、デプロイされた FSx for ONTAP ファイルシステムなどが含まれます。

ワークロードの工場出荷時のログインとアカウント

必要となるのは ["Workload Factory でアカウントを設定する"](#) 次のいずれかを使用してログインします ["コンソールエクスペリエンス"](#)。

### AWS のクレデンシャルと権限

読み取り/書き込み権限を持つ AWS 認証情報を Workload Factory に追加する必要があります。つまり、Builders では Workload Factory を読み取り/書き込み モードで使用することになります。

現時点では、[\\_基本\\_モード](#)と[\\_読み取り専用\\_モード](#)の権限はサポートされていません。<https://docs.netapp.com/us-en/workload-setup-admin/add-credentials.html>["Workload FactoryにAWS認証情報を追加する方法を学ぶ"]

### FSx for ONTAP ファイルシステム

少なくとも1つのFSx for ONTAPファイルシステムが必要です。

- ファイルシステムは、作成したプロジェクトとワークスペースを保存するためにビルダーによって使用されます。

このFSx for ONTAPファイルシステムでは、FlexVolボリュームを使用する必要があります。FlexGroupボリュームはサポートされません。

- AWS FSx for ONTAPファイルシステムが配置されているAWSリージョン、VPC、サブネットを把握しておく必要があります。
- 次の構成のファイルシステムに少なくとも1つのボリュームが必要です。
  - ボリュームがNFS共有として設定されている必要があります。
  - ファイルシステムにリンクが設定されている必要があります。 ["リンクの詳細"](#)です。
- この導入に含まれるAWSリソースに適用するタグのキーと値のペアを検討する必要があります（オプション）。

["FSx for ONTAPファイルシステムの導入と管理の方法をご確認ください"](#)

## ビルダーとPerforceの統合

BuildersとPerforce Helix Visual Client (P4V)を統合すると、開発者はPerforce CLIを使用してワークスペースを管理できます。これにより、開発者はプロジェクトとワークスペースをすばやく切り替えることができ、開発中の時間を節約できます。

手順

1. をダウンロードします ["P4V統合ファイル"](#)。
2. P4Vを開き、\* Tools > Manage Tools > HTML Tabs \*に移動します。

3. [HTMLタブのインポート]\*を選択します。
4. P4V統合XMLファイルを選択し、\*インポート\*を選択します。
5. >[ワークロードファクトリ]\*の順に選択します。

#### 結果

NetApp Workload Factory for Builders Web UI は、P4V クライアント内で HTML タブとして表示されます。

#### 次の手順

"[移行アドバイザーを使用してAmazon EC2導入計画を作成](#)"です。

# ビルダーワークロードの使用

## ビルダープロジェクトの管理

NetApp Workload Factory for Builders で Builders プロジェクトを管理して、各プロジェクトのコードとアーティファクトの管理方法を制御できます。

### プロジェクトを作成します

新しいBuildersプロジェクトを作成して、コードやアーティファクトにAmazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムのデータ保護機能を活用できます。

#### 手順

1. 次のいずれかを使用してWorkload Factoryにログインします。"[コンソールエクスペリエンス](#)"。
2. ビルダータイルで、\*プロジェクトの作成\*を選択します。
3. [プロジェクトの作成]ページで、次の項目を指定します。
  - a. プロジェクト名:プロジェクトの名前を入力します。
  - b. 説明:プロジェクトの説明を入力します。
  - c. \* Filesystem \* : 次の情報を指定します。
    - i. クレデンシャル: 使用するAmazon AWSクレデンシャルを選択します。ビルダーはこれらのクレデンシャルを使用して、このプロジェクトで使用できるFSx for ONTAPファイルシステムを検出し、プロジェクトのクローンやスナップショットを作成します。
    - ii. リージョン: このFSx for ONTAPファイルシステムが配置されているリージョンを選択します。
    - iii. \* FSx for ONTAPファイルシステム\* : このプロジェクトで使用するFSx for ONTAPファイルシステムを選択します。

選択できるのは、リンクが設定されているファイルシステムだけです。 "[リンクの詳細](#)"です。
    - iv. ボリュームを選択: プロジェクトを保存するボリュームを選択します。Buildersはこのボリュームをソフトウェアリポジトリとして使用します。

選択できるのは、NFS共有として設定されているボリュームだけです。
  - d. オペレーションポリシー:プロジェクトクローンの制限を指定します。
    - i. 最大保持日数: クローンを保持する最大日数を入力します。この日数が経過すると、Workload Factory はクローンを削除します。
    - ii. ユーザまたはグループあたりのクローンの最大数: ユーザまたはグループに対してプロビジョニングできるクローンの最大数を入力します。
    - iii. 最大クローンサイズ (GiB) : プロジェクトクローンの最大サイズをGiB単位で入力します。
  - e. アクセスポリシー:特定のユーザーまたはグループにプロジェクトアクセス権を明示的に付与します。
    - i. ポリシー適用範囲: 単一のIPアドレスまたはIPアドレス範囲を入力して、プロジェクトアクセスをそれらのIPアドレスまたは範囲に限定します。

例： 172.16.0.0/24

- ii. ユーザーまたはグループの識別子：ユーザーまたはグループの識別子を入力して、プロジェクトへのアクセスをそれらのユーザーまたはグループのみに制限します。

例： User1234

4. 「\* Create \*」を選択します。

#### 結果

プロジェクトが作成され、[プロジェクト]ページのプロジェクトのリストに表示されます。

## 既存のプロジェクトの表示

次の手順に従って、NetApp Workload Factory for Builders で作成された既存のプロジェクトを表示できます。

#### 手順

1. 次のいずれかを使用してWorkload Factoryにログインします。["コンソールエクスペリエンス"](#)。
2. ビルダータイトルで、\*プロジェクトページに移動\*を選択します。
3. [プロジェクト]ページにリストされている既存のプロジェクトを表示します。

## プロジェクトの編集

プロジェクトの設定はいつでも編集できます。

#### 手順

1. 次のいずれかを使用してWorkload Factoryにログインします。["コンソールエクスペリエンス"](#)。
2. ビルダータイトルで、\*プロジェクトページに移動\*を選択します。
3. [プロジェクト]ページで、編集するプロジェクトのを選択します [...](#)。
4. プロジェクト構成に必要な変更を加えます。
5. [保存 ( Save ) ]を選択します。

## プロジェクトのワークスペースを表示する

プロジェクトのクローンまたはスナップショットはワークスペースと呼ばれます。作成したワークスペースは、プロジェクトの操作ポリシーで許可されている限り保持されます。プロジェクトの既存のワークスペースを表示するには、次の手順を実行します。

#### 手順

1. 次のいずれかを使用してWorkload Factoryにログインします。["コンソールエクスペリエンス"](#)。
2. ビルダータイトルで、\*プロジェクトページに移動\*を選択します。
3. [プロジェクト]ページでプロジェクトを選択し、\*[表示]\*を選択します。
4. このプロジェクトのすべてのワークスペースのステータスと詳細を表示します。
5. ワークスペースのアラートまたは警告が表示されている場合は、アラートまたは警告アイコンにカーソル

を合わせると、その理由が表示されます。

## プロジェクトの削除

不要になったプロジェクトを削除するには、次の手順を実行します。

### 手順

1. 次のいずれかを使用してWorkload Factoryにログインします。"[コンソールエクスペリエンス](#)"。
2. ビルダータイトルで、\*プロジェクトページに移動\*を選択します。
3. [プロジェクト]ページで、削除するプロジェクトのを選択します **...**。
4. 「\*削除」を選択します。
5. 確認ダイアログで\*削除\*を選択します。

### 結果

プロジェクトが削除され、プロジェクトに関連付けられているコードやアーティファクトがボリュームから削除されます。プロジェクトのスナップショットとクローンは保持されます。

## NetApp Workload Factory for Builders プロジェクトのバージョンを管理する

Workload Factory からオンデマンドのスナップショットやクローンを直接作成して、Builders プロジェクトのさまざまなバージョンを操作します。プロジェクトのスナップショットとクローンは、プロジェクトの作成時にプロジェクトに関連付けられたファイルシステムに保存されます。スナップショットとクローンを管理するには、"[ワークロードファクトリー REST API](#)"。

### プロジェクトのスナップショットの作成

プロジェクトのスナップショットを作成するには、次の手順を実行します。

### 手順

1. 次のいずれかを使用してWorkload Factoryにログインします。"[コンソールエクスペリエンス](#)"。
2. ビルダータイトルで、\*プロジェクトページに移動\*を選択します。
3. [プロジェクト]ページで、スナップショットを作成するプロジェクトのを選択します **...**。
4. 表示されたメニューで\*[Create a snapshot]\*を選択します。
5. ダイアログで、スナップショットの名前を選択し、[作成]\*を選択します。

### プロジェクトのクローンを作成する

以下の手順に従って、スナップショットから Builders プロジェクトのクローンを作成します。クローンを作成すると、クローンを格納するための新しい編集可能なボリュームが作成されます。

### 手順

1. 次のいずれかを使用してWorkload Factoryにログインします。"[コンソールエクスペリエンス](#)"。

- ビルダータイルで、\*プロジェクトページに移動\*を選択します。
- プロジェクトページで、...クローンを作成するプロジェクトの。
- 表示されたメニューで、「クローンを作成」を選択します。
- \*クローンの作成\*ダイアログで、次の操作を行います。
  - クローンの名前を入力します。

クローンのデフォルト名は、現在の日付と時刻の接尾辞が付いたプロジェクト名になります。

- クローンのベースとして使用するスナップショットを選択します。
- 「\* Create \*」を選択します。

## 結果

ワークロード ファクトリーによってプロジェクトの新しいクローンが作成され、そのクローンが [プロジェクト] ページに新しいプロジェクトとして表示されます。

## ビルダーワークスペースの作成

NetApp Workload Factory for Builders のワークスペースは、特定の時点におけるプロジェクトの Perforce 表現です。ワークスペースは、プロジェクト スナップショットをベースとして作成されます。Builders プロジェクト内に新しいワークスペースを作成できます。Perforce UI からワークスペースを作成できます。

### 開始する前に

BuildersとPerforce Helix Visual Clientが統合されていることを確認します。詳細については、を参照してください ["ビルダーとPerforceの統合"](#)。

### 手順

- Perforceにログインします。
- Perforceメニューで、[表示]>\*[WF]を選択します。

Perforce UI 内に Workload Factory ログイン画面が表示されます。

- 次のいずれかを使用してWorkload Factoryにログインします。"[コンソールエクスペリエンス](#)"。
- Builders ワークロード タイルで、プロジェクトの作成 を選択します。
- [ワークスペースの作成]\*を選択します。
- [ワークスペースプロジェクトの作成]ページで、次の項目を指定します。
  - ワークスペースのベースとして使用するスナップショットを選択します。
  - ワークスペースの名前を入力します。
  - 必要に応じて、ワークスペースを要求するユーザーIDを入力します。この識別子は、このワークスペースを使用する開発者のPerforceユーザーIDと一致する必要があります。
- 「\* Create \*」を選択します。

## 結果

ワークスペースが作成され、[ワークスペース]ページのワークスペースのリストに表示されます。

## CodeboxでBuildersタスクを自動化

Codebox を使用すると、プロジェクトの作成とデータ保護の操作を自動化できます。Codebox は、Workload Factory でサポートされているあらゆる操作を実行するためのコードを生成するのに役立つ、コードとしてのインフラストラクチャ (IaC) のコパイロットです。

詳細とその使用方法については、こちらをご覧ください ["コードボックス自動化"](#) ください。

# 知識とサポート

## NetApp Workload Factory for Builders のサポートに登録する

NetAppテクニカル サポートでサポート ケースを開く前に、NetAppサポート サイト アカウントを Workload Factory に追加し、サポートに登録する必要があります。

NetApp Workload Factory とそのストレージ ソリューションおよびサービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Workload Factory とは別の Web ベースのコンソールであるNetAppコンソールからサポートに登録する必要があります。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品の Workload Factory ドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

["Amazon FSx for ONTAP"](#)

### サポート登録の概要

アカウント ID サポート サブスクリプション ( NetAppコンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxx シリアル番号) を登録すると、単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各NetAppアカウント レベルのサポート サブスクリプションを登録する必要があります。

登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppコンソールにNetAppサポート サイト (NSS) アカウントを追加することで完了します。

### NetAppサポートのアカウントを登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、アカウント内の 1 人のユーザーがNetAppサポート サイト アカウントをNetAppコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

#### NSSアカウントをお持ちの既存のお客様

NSS アカウントをお持ちのNetApp のお客様の場合は、NetAppコンソールからサポートに登録するだけです。

#### 手順

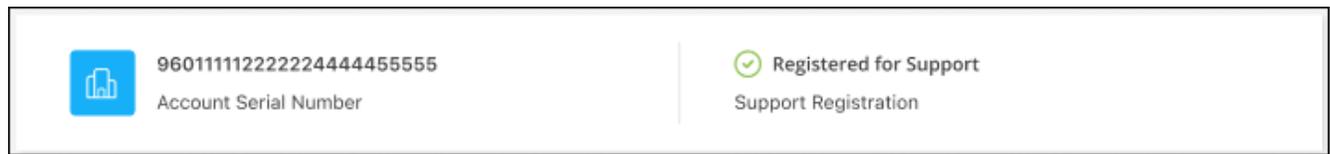
1. Workload Factory コンソールの右上で、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。

このオプションを選択すると、新しいブラウザ タブでNetAppコンソールが開き、サポート ダッシュボードが読み込まれます。

2. NetAppコンソール メニューから、管理 を選択し、資格情報 を選択します。
3. [ユーザクレデンシャル]\*を選択します。
4. [NSSクレデンシャルの追加]\*を選択し、NetApp Support Site (NSS) 認証プロンプトに従います。
5. 登録プロセスが正常に完了したことを確認するには、[ヘルプ]アイコンを選択し、\*[サポート]\*を選択しま

す。

[リソース]ページに、アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。



NetAppコンソール ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、他のNetAppコンソール ユーザーには同じサポート登録ステータスが表示されません。ただし、これはNetAppアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。アカウント内の1人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

### NSSアカウントを持たない既存のお客様

既存のNetApp顧客であり、既存のライセンスとシリアル番号を持っているものの、NSS アカウントを持っていない場合は、NSS アカウントを作成し、それをNetAppコンソール ログインに関連付ける必要があります。

#### 手順

1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetApp Support Site ユーザー登録フォーム](#)"
  - a. 適切なユーザレベルを選択してください。通常は\*ネットアップのお客様/エンドユーザ\*がこれに該当します。
  - b. 上記で使用したNetAppアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをNetAppコンソールログインに関連付けます。NSSアカウントをお持ちの既存のお客様。

ネットアップのソリューションを初めて導入する場合は

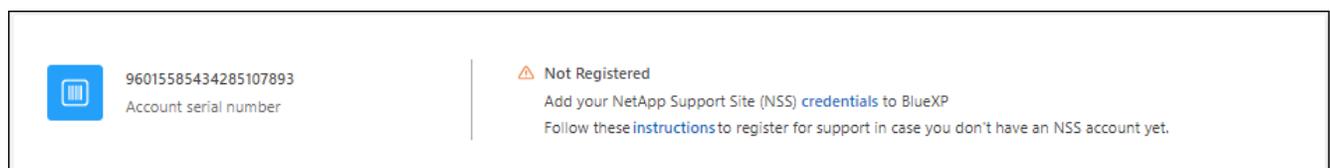
ネットアップ製品を初めてご利用になり、NSSアカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

#### 手順

1. Workload Factory コンソールの右上で、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。

このオプションを選択すると、新しいブラウザ タブでNetAppコンソールが開き、サポート ダッシュボードが読み込まれます。

2. [Support Resources]ページでアカウントIDのシリアル番号を確認します。



メニューのスクリーンショット。サポートは最初に表示されるオプションです"]

3. [I am not a registered NetApp Customer]に移動して "[ネットアップサポート登録サイト](#)" 選択します。

4. 必須フィールドに入力します（赤いアスタリスクのフィールド）。
5. [製品ライン（Product Line）]フィールドで、[Cloud Manager \*]を選択し、該当する課金プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順2からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティチェックを完了して、ネットアップのグローバルデータプライバシーポリシーを確認します。

この安全なトランザクションを完了するために、メールボックスに電子メールがすぐに送信されます。確認メールが数分で届かない場合は、必ずスパムフォルダを確認してください。

7. Eメールからアクションを確認します。

確認ではネットアップにリクエストが送信され、NetApp Support Site アカウントを作成することを推奨します。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetApp Support Site ユーザー登録フォーム](#)"
  - a. 適切なユーザーレベルを選択してください。通常は\*ネットアップのお客様/エンドユーザ\*がこれに該当します。
  - b. シリアル番号フィールドには、上記のアカウントのシリアル番号（960xxxx）を必ずコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。

終了後

このプロセスについては、ネットアップからご連絡ください。これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをNetAppコンソールのログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存のお客様](#)。

## ビルダーに関するヘルプ

NetApp は、Workload Factory とそのクラウド サービスをさまざまな方法でサポートします。ナレッジベース (KB) 記事やコミュニティ フォーラムなど、広範な無料のセルフサポート オプションが 24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート登録には、Webチケットによるリモートテクニカルサポートも含まれます。

### FSx for ONTAPのサポートを利用する

FSx for ONTAP、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品の Workload Factory ドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

#### "Amazon FSx for ONTAP"

Workload Factoryおよびそのストレージソリューションおよびサービスに固有のテクニカルサポートを受けるには、以下に説明するサポートオプションを使用してください。

### セルフサポートオプションを使用します

次のオプションは、1日24時間、週7日間無料でご利用いただけます。

- ドキュメント

現在表示している Workload Factory のドキュメント。

- ["ナレッジベース"](#)

Workload Factory ナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけます。

- ["コミュニティ"](#)

Workload Factory コミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりしてください。

## ネットアップサポートと一緒にケースを作成します

上記のセルフサポートオプションに加え、サポートを有効にしたあとで問題が発生した場合は、ネットアップサポートの担当者と相談して解決できます。

始める前に

\*ケースの作成\*機能を使用するには、まずサポートに登録する必要があります。NetAppNetAppサイトの資格情報を Workload Factory ログインに関連付けます。["サポートに登録する方法について説明します"](#)。

手順

1. Workload Factory コンソールの右上で、[ヘルプ]>[サポート]を選択します。

このオプションを選択すると、新しいブラウザ タブでNetAppコンソールが開き、サポート ダッシュボードが読み込まれます。

2. **[Resources]** ページで、**[Technical Support]** で次のいずれかのオプションを選択します。

- a. 電話で誰かと話をしたい場合は、\***[電話]**\*を選択します。netapp.comのページに移動し、電話番号が表示されます。

- b. **[ケースの作成]**\*を選択して、NetAppサポートスペシャリストとのチケットをオープンします。

- \* **Service** : Workload Factory \*を選択します。

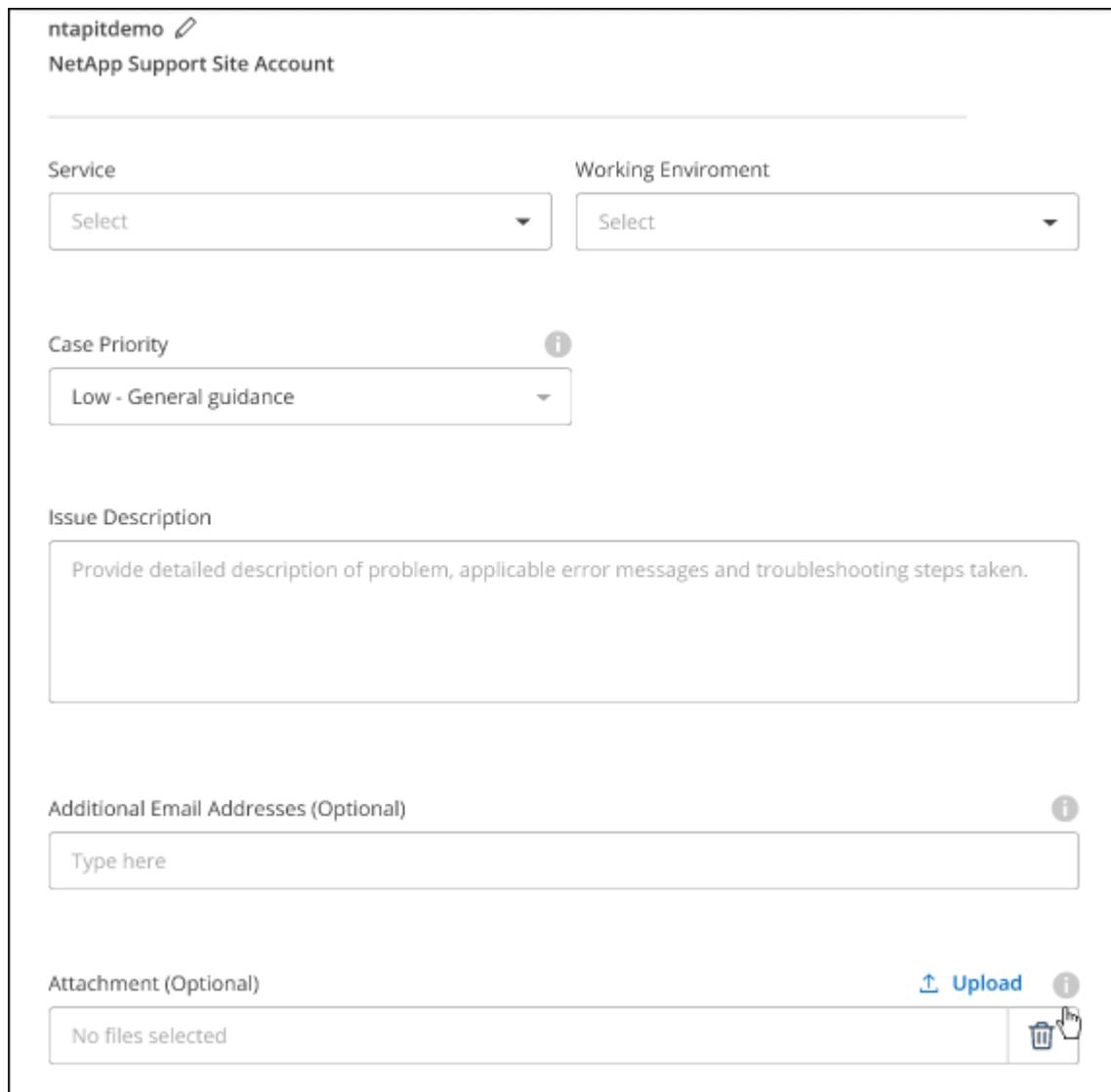
- **ケース優先度**: ケースの優先度を選択します。優先度は、[低]、[中]、[高]、[クリティカル]のいずれかになります。

これらの優先度の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスポインタを合わせます。

- \***事象の説明**\*: 実行したエラーメッセージやトラブルシューティング手順など、問題の詳細な概要を入力します。
- **その他のメールアドレス**: この問題を他のユーザーに知らせる場合は、追加のメールアドレスを入力します。
- **添付ファイル (オプション)**: 一度に1つずつ、最大5つの添付ファイルをアップロードできます。

添付ファイルはファイルあたり25 MBに制限されています。サポートされているファイル拡張子

は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、およびcsv。



ntapitdemo 

NetApp Support Site Account

---

Service Working Environment

Select Select

Case Priority 

Low - General guidance

Issue Description

Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.

Additional Email Addresses (Optional) 

Type here

Attachment (Optional) Upload 

No files selected  

終了後

ポップアップにサポートケース番号が表示されます。ネットアップのサポート担当者がケースを確認し、すぐに対応させていただきます。

サポートケースの履歴を確認するには、\*[設定]>[タイムライン]\*を選択し、「サポートケースの作成」というアクションを検索します。右端のボタンをクリックすると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする、次のエラーメッセージが表示される場合があります。

"選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません"

このエラーは、NSS アカウントとそれに関連付けられているレコード会社が、NetAppコンソール アカウントのシリアル番号のレコード会社と同じではないことを意味している可能性があります (つまり、960xxxx) またはシステムのシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用してサポートを求めることができます。

- 製品内のチャットを使用します
- テクニカル以外のケースを <https://mysupport.netapp.com/site/help>

## サポートケースの管理（プレビュー）

アクティブなサポート ケースと解決済みのサポート ケースをNetAppコンソールから直接表示および管理できます。NSS アカウントおよび会社に関連付けられたケースを管理できます。

ケース管理はプレビューとして使用できます。今後のリリースでは、この点をさらに改良し、機能を強化する予定です。製品内のチャットでご意見をお寄せください。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の2つのビューがあります。
  - 左側のビューには、指定したユーザNSSアカウントによって過去3カ月間にオープンされたケースの総数が表示されます。
  - 右側のビューには、ユーザのNSSアカウントに基づいて、過去3カ月間にオープンしたケースの総数が会社レベルで表示されます。

テーブルの結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 目的の列を追加または削除したり、[優先度]や[ステータス]などの列の内容をフィルタリングしたりできます。他の列には、並べ替え機能だけがあります。

詳細については、以下の手順を参照してください。

- ケースごとに、ケースノートを更新したり、ステータスが「Closed」または「Pending Closed」でないケースをクローズしたりすることができます。

### 手順

1. Workload Factory コンソールの右上で、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。

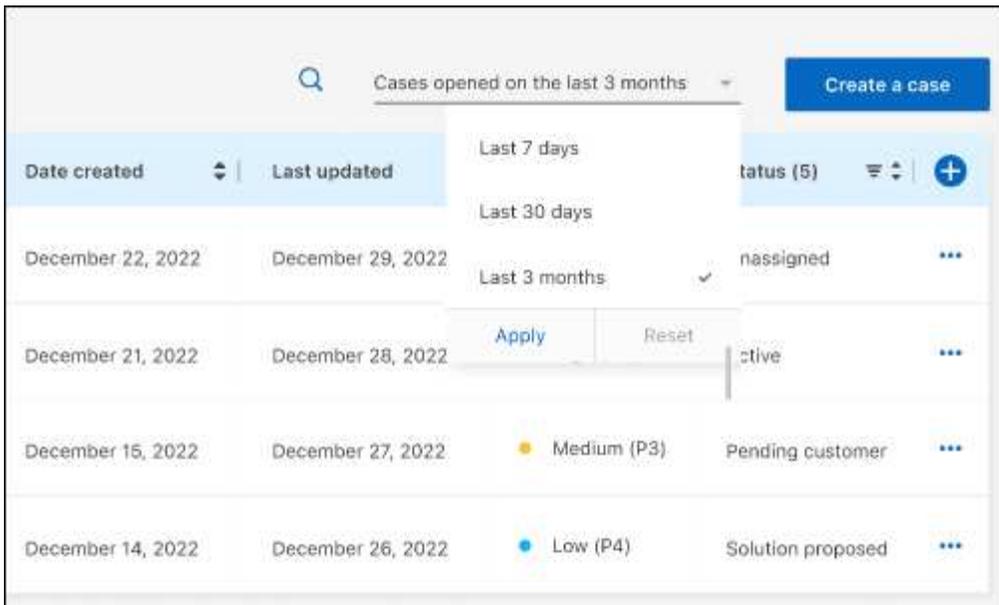
このオプションを選択すると、NetAppコンソールの新しいブラウザ タブが開き、サポート ダッシュボードが読み込まれます。

2. \*ケース管理\*を選択し、プロンプトが表示されたら、NSS アカウントをNetAppコンソールに追加します。

ケース管理 ページには、NetAppコンソール ユーザー アカウントに関連付けられている NSS アカウントに関連するオープン ケースが表示されます。これは、**NSS 管理** ページの上部に表示される NSS アカウントと同じです。

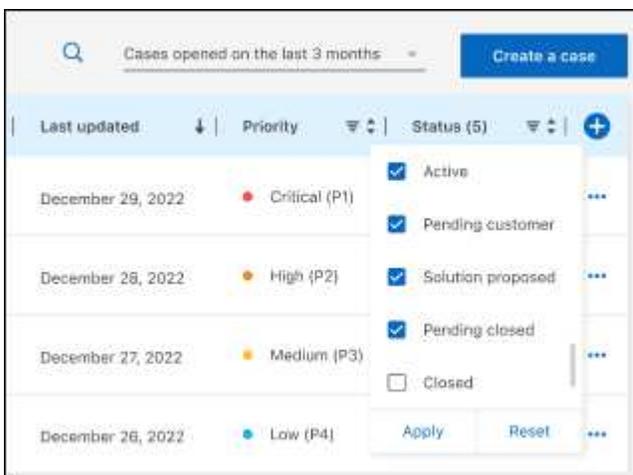
3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。

- [Organization's Cases]\*で[View]\*を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
- 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して、日付範囲を変更します。



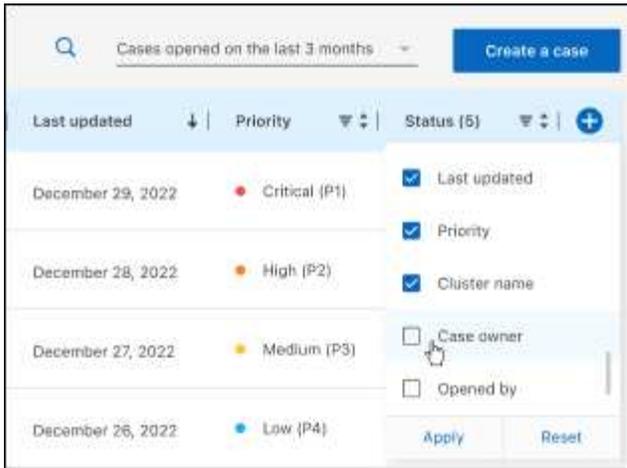
ページのテーブルの上にあるオプションのスクリーンショット。正確な日付範囲、または過去7日、30日、または3か月を選択できます。"]

- 列の内容をフィルタリングします。



列のフィルタオプションのスクリーンショット。[Active]や[Closed]など、特定のステータスに一致するケースを除外できます。"]

- テーブルに表示される列を変更するには、を選択し [テーブルに表示されるプラスアイコン]、表示する列を選択します。

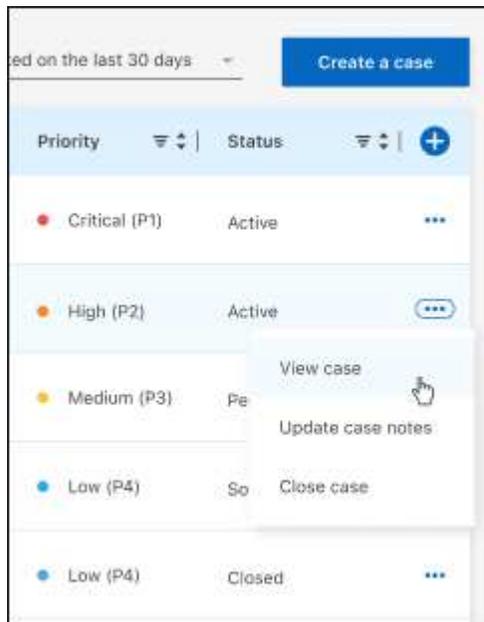


4. 使用可能なオプションのいずれかを選択して、既存のケースを管理し [テーブルの最後の列に表示される3つの点を持つアイコン] ます。

- ケースの表示:特定のケースの詳細を表示します。
- ケースノートの更新：問題の詳細を入力するか、\*ファイルのアップロード\*を選択して最大5つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルあたり25 MBに制限されています。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、およびcsv。

- ケースをクローズ：ケースをクローズする理由の詳細を入力し、\*ケースをクローズ\*を選択します。



# NetApp Workload Factory for Builders に関する法的通知

法的通知では、著作権に関する声明、商標、特許などにアクセスできます。

## 著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

## 商標

NetApp、NetAppのロゴ、およびNetAppの商標ページに記載されているマークは、NetApp、Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

## 特許

NetAppが所有する特許の最新リストは、次のサイトで参照できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

## プライバシーポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

## オープンソース

通知ファイルには、ネットアップソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が記載されています。

["NetAppワークロード ファクトリー"](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。